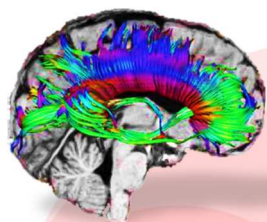


養育者支援によって子どもの虐待を低減するシステムの構築 キックオフ・シンポジウム

参加費無料／定員90名（先着順）



子ども虐待防止には、親（養育者）の抱える問題の解決が重要ですが、子どもに比べ、**養育者の支援**は大幅に遅れています。

本プロジェクトでは、脳科学・小児科学・精神科学・保健学・社会学・法学の研究者による包括的な**文・理協働研究**を実施し、先端医学技術や国際比較研究を用いて、**虐待リスク要因の4領域（親/子/家庭・社会/行政・法制度）**において最適な養育者支援システムを開発します。

当事者と福祉・医療・司法等の関係機関が協力し合い、個々の家庭の実情に合った柔軟で効果的な支援が提供できるよう、**科学的根拠に基づく政策提言**を目指します。

本シンポジウムでは本研究の可能性と課題に焦点を当て、進むべき方向性について、子育て中の方々から支援の専門家まで、この問題に関心をおもちの幅広い範囲のみなさまと議論してまいりたいと考えています。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

グループ紹介

グループA	黒田 公美	（理化学研究所・脳科学総合研究センター・チームリーダー）
	松宮 透高	（県立広島大学・保健福祉学部・准教授）
グループB	友田 明美	（福井大学・子どものこころの発達研究センター・教授）
グループC	落合 恵美子	（フランス社会科学高等研究院・国際研究職／京都大学・教授）
	渡辺 多恵子	（日本保健医療大学・保健医療学部・准教授）
グループD	水野 紀子	（東北大学・大学院法学研究科・教授）

特別講演

講師①	阿部 彩	（首都大学東京・都市教養学部・教授）
講師②	安梅 勅江	（筑波大学・医学医療系・教授）
講師③	松平 隆光	（松平小児科院長／日本小児科医会会長）

パネル ディスカッション

パネリスト	中村 正	（立命館大学・応用人間科学研究科・教授）
パネリスト	山下 浩	（さいたま市児童相談所・参事／児童精神科医）
パネリスト	中垣 正通	（子どもの虹情報研究センター／臨床心理士）
他予定、後日発表（決定次第、WEBページにて順次更新）		

日 時

平成27年 12月20日（日）
12：45～18：00（開場12：00）

会 場

JST東京本部別館2階 会議室
（東京都千代田区五番町7 K's 五番町）

申込み

youikusha2015shien@gmail.com
お名前、フリガナ、ご所属を明記の上、お送りください。

